

## 「夏休み」

夏休み。多くの小学生にとって一番楽しい期間ではないだろうか。もう20年近く経つが、私も小学生だったときは夏休みが楽しくてしょうがなかった。小学生時代を北海道で過ごした私にとって、短い夏は特別だった。毎日眠たい目をこすりラジオ体操に行く。友達と公園で野球やサッカーをし、お昼は祖母のゆでたそうめんをすする。おやつ時間は祖父母が家庭菜園で育てた真っ赤なスイカにかぶりつき、アニメの再放送を見る。夕飯後は、普段より少し夜更かし。楽しい夏はあっという間に過ぎ去った。

地元ではお盆明けに花火大会が行われる。毎年、父母と花火大会に行くのが夏一番の楽しみだった。その頃の夜は正直肌寒い。暖かいお茶を飲みながら目を輝かせた、夜空一面に咲いた光の花を忘れることはないだろう。長袖必須の花火大会は、まさしく夏のクライマックスだった。短い北海道の夏がすぐ終わってしまうように、夏休みもあっという間に終わってしまった。当時通っていた小学校では夏休みは8月中旬まで。日曜夕方のアニメで、小学生が夏休み最終日に宿題が終わっておらず大慌てするエピソードが放送される頃には、私の2学期はとっくに始まっていた。2週間前の自分を思い出す内容にクスツとしつつ、夏休みに戻ればいいのにと何度思ったことだろう。

大学進学を機に上京して10年経ったが、いまだに関東の暑さにはなれない。数年で慣れるだろうと思っていたが、見通しが甘かった。一日中じめじめとした暑さが身体にまとわりつくようだ。朝は玄関を開けた瞬間、ムアツとした熱気が押し寄せてくる。日中は日差しも強く、少し歩くだけで汗ばんでしまう。外に出るときはハンディタイプの扇風機が手放せない。夜も暑いままなので、エアコンは一晩中つけっぱなし。夏は電気代が恐ろしい。

地元は今夏真っ盛りだ。地元の天気予報を見ると、真夏日がよくあるらしい。私が小学生だった頃は、最高気温30度超えは珍しかった。ここ20年で最高気温は上がったようだ。しかし、やはり北海道の夏の暑さと関東の夏の暑さは違う気がする。カラッとさわやかな風が吹く北海道の夏が懐かしい。関東に何年住んでも、私は道産子のみまだ。北海道の夏を思い出すたびに、毎日が楽しいことずくめだった小学生時代の夏休みに戻りたくなる。もし戻れたのなら、毎日何をして過ごそうか。考えるだけでわくわくが止まらない。ただ、今度こそ宿題だけは計画的にやらないと……。

(T.T)

